

【受付時間】午前8時30分～11時30分まで 【診察時間】午前9時～正午まで

※受付時間の異なる診療科があります(※)内をご参照ください。又()内の時間表示は診察時間となります。

※臨時に休診になる場合、診療表が変更になる場合がありますので事前にご確認ください。

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科	1診	(総合診療科) 田中 光司	(総合診療科) 田中 光司 (診療時間11:00～)	栗原 眞行	(総合診療科) 田中 光司	(総合診療科) 田中 光司 (診療時間11:00～)
	2診	北原 義介	栗原 眞行	北原 義介	(予防接種外来) 北原 義介 [予約制] (14:00～15:00)	(総合診療科) 新早 宏文
外科	1診	三枝 晋	総合診療科にて (田中 光司)	吉山 繁幸	総合診療科にて (田中 光司)	三枝 晋
	2診	吉山 繁幸		浦谷 亮		原文 祐
(乳腺科) (完全予約制) 午前 9:00～ 午後 12:00～				毛利 智美 午前 再診: 予約制 午後 初診: 予約制		毛利 智美 午前 再診: 予約制 午後 初診: 予約制
消化器・肝臓内科	1診	八尾 隆治	加藤 孝太	関西医科大学 交代制	八尾 隆治	加藤 孝太
	2診	池田 正俊 (10:00～12:00)	榎木 一仁	榎木 一仁	斎藤 康晴	池田 正俊
(肝胆膵外科)		櫻井 洋至 (三重大)				
循環器内科	1診	児玉 健二	八木 典章 (滋賀医大)	児玉 健二	澤山 裕一 (滋賀医大)	山本 孝 (滋賀医大)
(ペースメーカー外来) [予約制・第3木曜日] (13:00～15:00)				児玉 健二		
神経内科			北原 義介		北原 義介	北原 義介
腫瘍内科	1診	岩田 崇	岩田 崇 (予約制)	小田 裕靖 (三重大)	岩田 崇 (予約制)	奥川 喜永 (三重大)
	2診				(緩和ケア外来) 交代制[予約制・午後]	
(呼吸器科)		岡本 圭伍、賀来 良輔 (2名とも滋賀医大) (交代制)	寺本 晃治 (滋賀医大)			
(糖尿病内科) (第1・第4火曜日)			浜島 信之 (名古屋大)			
(腎臓内科) (13:00～15:30)			清水 浩一			
整形外科 (※8:30～11:00)	1診	佐藤 昌良	佐藤 昌良	手術日	藤原 達彦 (10:00～11:30)	池村 重人
	2診		池村 重人 (再診のみ)		池村 重人 (再診のみ) (10:00～11:30)	
	3診		藤原 達彦			
	午後		ギプス外来			
泌尿器科				神田 英輝 (三重大) (再診のみ)		
脳神経外科	第1 第2・4・5 第3 (3名とも滋賀医大)	中澤 拓也 北村 智章 野崎 和彦 (3名とも滋賀医大)	新早 宏文		新早 宏文	
(心臓血管外科) (10:00～12:00)				宮下 史寛 (滋賀医大)		
婦人科 (※8:30～11:00)				三重大学医師 交代制		
耳鼻咽喉科 (※8:30～11:00)		竹内 万彦 (三重大)				
眼科 (※8:30～11:00)			布目 貴康 (三重大)			
皮膚科 (※13:00～15:30)			山本 晋也 (三重大)			
(炎症性腸疾患外来) 第2月曜日		安藤 朗 (滋賀医大)				
(もの忘れ外来) (月1回) (14:00～16:00)						赤津 裕康 (名古屋市立大)

■ は常勤医師 ■ は常勤女性医師

伊賀市立上野総合市民病院

〒518-0823 三重県伊賀市四十九町831番地

※整形外科の水曜日の初診は、救急外来にて対応させていただきます。

※乳腺科については、完全予約制です。お電話での予約の受付は平日月曜・水曜・金曜の12:00～16:00の間です。

電話 0595-24-1111(代表) FAX 0595-24-2268

【地域医療連携室・直通】

電話 0595-41-0061 FAX 0595-41-0068

地域の
医療と健康を
サポートする
広報誌

ホスピタル広報 伊賀

2019.11

13号

発行者/伊賀市立上野総合市民病院

三重県伊賀市四十九町831番地 TEL. 0595-24-1111(代表) FAX. 0595-24-2268

https://www.cgh-iga.jp/

上野総合市民病院

検索

ご自由に
お持ち帰りください



市民公開講座

地域医療連携室 室長 岡本 京子

当院では、市民の皆さんから信頼される病院になるために、日常の医療活動以外にさまざまな取り組みを行っていますが、その一つに市民公開講座があります。市民の皆さんにさまざまな疾患について学んでいただき、病気の予防や健康維持にお役立ていただくとともに、当院でどのような治療が受けられるのかを知っていただくために、市民公開講座を定期的で開催しています。本年度は、関節・脊椎疾患、消化器外科疾患、循環器疾患・脳血管疾患・画像診断、消化器内科疾患の4回に分けて開催しています。当院の医師が講師を務め、さまざまな病気の症例から検査・治療方法、当院でできる手術の実際をお話しさせていただいております。

1回目は6月14日(土)に「ここまでできる当院の関節手術・脊椎手術」と題して、整形外科の佐藤副院長と池村整形外科部長が加齢や転倒によって起こる病気のことや当院の手術についてお話ししました。参加者アンケートでは、「自分のかかっている病気の内容を詳しく知って、不安な気持ちが楽になった」や、「手術は怖いと思っていたが、安心して受けられると一歩前に進んだ」などの声をいただきました。

2回目は9月14日(土)に「どうすれば治るこの病気、当院の外科治療」と題して、外科



の三枝主任外科部長、吉山外科部長、浦谷医長が、大腸と胃の病気やがんの最新治療、加齢とともに増えるヘルニアの最新治療と胆石症についてお話ししました。

病気によっては、「市外や県外の大きな病院で受診しないと不安」という方もおられると思いますが、まずは地元の当院でどのような検査や治療を受けることができるのかを知っていただき、皆さんの不安なお気持ちにお役に立てればと思います。

今後の市民公開講座の開催予定は次のようになっています。いずれも午後2時から当院において開催します。入場無料、事前申込不要ですので、お気軽にご参加ください。

令和元年12月14日(土) 「ここまでできる当院の循環器疾患・脳血管疾患・画像診断」

令和2年 3月14日(土) 「ここまでできる当院の消化器内科疾患」

最新医療 ニュース

超音波内視鏡の導入について

当院では今年、超音波内視鏡 (EUS:Endoscopic Ultrasonography) を導入しました。EUSは、超音波(エコー)装置が備わった内視鏡で、一般的な体表からのエコー検査と異なり、胃や腸の中の空気や腹壁、腹腔内の脂肪、骨がエコーの障害になることがなく、目的の病変の近くから観察が行えるため、より詳細に病変の位置や大き



さや内部構造などの情報を得ることができます。さらに消化管の内側から病変に直接針を刺して組織を採取(生検といいます)することも可能です。胃カメラと同じように口から内視鏡を挿入しますが、鎮静剤や鎮痛剤を使用してできるだけ負担のないようにしています。主に膵臓や胆管の病気を持つ患者さんが対象になります。必要な患者さんには医師より検査をおすす

めさせていただきます。消化器肝臓内科医師一同、より精度の高い診療を目指していきますので、これからもよろしくお願いいたします。 消化器・肝臓内科医長 加藤 孝太

「病棟薬剤業務」を始めました

薬剤師が行っている業務をご存知でしょうか。多くの方がイメージされる調剤業務のほかに病棟薬剤業務があります。

病棟薬剤業務とは、薬剤師が行う医療従事者の負担軽減及び薬物療法の有効性、安全性の向上に資する業務です。わかりやすく言うと、患者さ



んの持参したお薬を含めて入院中に使用するすべての医薬品について、飲み合わせやアレルギーなどの確認を行い、患者さんの状態に応じた処方提案や、医薬品の情報提供を行う業務です。また、医薬品の適正な保管・管理や、処方された医薬品を間違いなく服用したり使用していただけるように、患者さんへの説明を行います。

当院では本年度から薬剤師を増員し、各病棟に専任の薬剤師を配置して病棟薬剤業務を行っています。これによって、医師や看護師の負担軽減につなげるとともに、当院における医療の安全性と質の向上に努めています。 薬剤課 薬局長 福森 和俊

ホルター心電図解析装置が新しくなりました

ホルター心電図検査は、携帯用の心電計を装着して日常生活を送っていただき、長時間(24時間)にわたり心電図を記録する検査です。この心電図を解析することによって通常



の心電図(10秒程度の記録)では分からない不整脈や狭心症などを検査する事ができます。小型心電計を体に固定するため「ホルター心電図」と誤って呼ばれたりしますが、1961年ホルター(Holter)博士によって開発されたため「ホルター心電図」というのが正解です。 この春、当院では最新のホルター心電図解析装置及び記録装置を導入しました。小型で装着感も少なく、防水になっているのでお風呂も入れます。健康診断で心電図異常なしと判断された方でも動悸、目まい、胸痛など症状のある方にはホルター心電図検査をおすすめします。 臨床検査課(臨床検査技師) 末永 裕美

がん化学療法看護認定看護師

がん化学療法看護認定看護師は、がん化学療法を受ける患者さんやご家族の方が安全に安心して治療が受けられるように、治療の開始前から治療中の時期において副作用の予防、自己管理が出来るように情報提供や副作用の説明、指導を行います。

現在、化学療法治療薬の進化により治療の場が入院から外来へ移行してきており、当院も外来治療を受ける患者さんが増えています。外来治療が、長期に渡ると副作用の予防だけでなく、通院や経済的な不安なども生じてきます。



化学療法室(がんサポート・免疫栄養療法センター内)

このため、患者さんや、ご家族の方が「社会的役割を務め地域で暮らしながら治療が継続できる」ように医師や薬剤師、管理栄養士などと連携しながら支援をさせていただきます。

がん化学療法看護認定看護師 小川 亜希